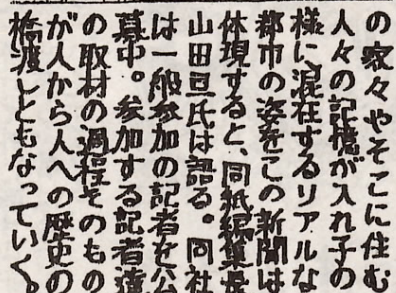


心は出は二コエた

西成なるへそ新聞社（大阪市西成区）は三月末周紙の創刊を發表した。西成区で芸術活動を展開するブレイカー・プロジェクトとの共同企画によって生まれたこの独創的な新聞は、地域に住む人々の記憶を頼りに「西成の今昔」を新聞紙上に街の風景として再現して行く。一つ一つの記事は紙面上にある家や区画の様に振われ、街の変化と同様に新しい記事を入れる際には古い記事を切り取って取り壊し、少しづつ時間をかけて記事が差し変わって行くと

この街に住む人々の生

出来ない大きな戦争は
 驗ですら徐々に個人人の
 デイティールを失って
 單なる「歴史の一ペー
 ジ」となつて行く現在

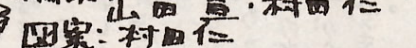


この街に住む人々の生
きて来た記憶が気づか
ない内に消えていって
しまふ前に、出来るだ
け多くの方々から「暮
らしの体験談」を聞き
出していただきたいと
同社広報の村田仁氏は
語る。時空間を動く街
の移り変わりの姿を一
緒に作っていく「なる
へそ記者」には報道腕
章とメモ等が支給され
る。年間を通しての参
加から、数回や一回限
りでの参加も可能だ。

奧様ヲ殺す

中央区の店から親子二代で官む西成区と同じ洋品店に嫁いできたおしゃれガールは、店の手伝いや家事に忙しい毎日だ。既製品の洋服が出始め、フレアスカートの、ツイッツギーが着るミニワンピースなどをが街の若者たち到大流行。商店街に働く奥様方は日々家業が忙しく、デパートへ買い物に行け

同じものを買い求める奥様方が増え、店には一番売れ筋であるそのワンピースが、色柄違いの各サイズを揃えており、毎日四、五着は売れて行く。流行服を着け扱っている洋品店では無いため様々な接客で、てんてこまい。先には、同じスタイルの女性が増えたが、皆満足そうに購入していく



約六七兩

なるへそ新聞社（大阪
市西成区）はこのほど
「なるへそ壁新聞」を山
王及び太子を中心に店
舗前や商店街の壁ス
ペース等四六、二カ所
の季節に撥水加工の必
要等も叫ばれているが、
大きく変わった新聞に目
を留めて頂ければと期
待がふくらんでいる。

水呑み地蔵周辺では、八月二十三、二十四日に行われる地蔵盆の準備に忙しい。夕方六時頃から八時頃にかけて近隣から二、三百人の子どもたちが集まってくるという。「二この地蔵盆は、とくにお菓

お菓子かふるまわれ暑い時期なのでとくに

かき氷が人気のようだし

「かき氷のカップの考

で何人来てくれたかみ

かるからね、たいへん

だけと楽しんだわ。」と

のこと。今年も多くの

人出て賑わいそつた。

國家志望だった二代目
林 繁一さん(37)は
以前渡川近くの経営し
ていた銭湯での手腕を
買われて、さんわ温泉
にヘッドハントされた
その後居着きを引くや
さんわ」と変更に経営

今年も恒例の盆踊り大会が、
藪え茶屋の三角公園で行わ

夏は一釜のうちに暑
 ので食欲もなく、又
 に出たり運動する事
 少なくなるのは致し
 なした。自然と食欲
 不振となり、体力も衰
 える。この季節、立河

たす

大膽な現代芸術創造事業
ex・pots 2011-2013

Breaker Project

山王・飛田・太子・新世界
地域密着型アートプロジェクト

<http://breakerproject.net>